

大阪市高齢者実態調査票

(介護支援専門員調査)

《調査ご協力をお願い》

このたび大阪市では、「介護支援専門員調査」を実施することになりました。この調査は、今後の大阪市の高齢者施策を推進するための大切な調査であり、ケアプラン作成に携わっておられる介護支援専門員の方々をお願いしているものです。

- ◎回答いただきました内容はすべてコンピューターにより統計的に処理し、この調査の目的にのみ使用し、皆様には不利益のないよう個人情報の保持には万全を期しております。なお、この調査は無記名調査となっております。
- ◎何かとお忙しいところお手数ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力いただきますよう、よろしく願います。
- ◎回答に要する時間は（めやすとして）50分程度です。

《ご回答にあたってのお願い》

- ◎介護支援専門員の方がお答えください。
- ◎この調査は、問の中で時点や期間を指定している場合を除き、記入日現在の状況でお答えください。
- ◎筆記具は鉛筆やボールペンなどをお使いください。
- ◎あてはまる番号に○をつけていただく間には、1つだけ○をつけていただく場合と、複数○をつけていただく場合がありますので、質問に従ってご回答ください。
- ◎複数の事業所を兼務されている場合は、介護支援専門員としての実績の多い方の事業所から渡された調査票にのみ記入してください。
- ◎本調査は、WEB回答でも受け付けています。パソコンまたはタブレットで下記QRコードより入力いただき、ID・パスワードを入力の上、回答をお願いします。
(令和4年10月14日(金)まで)

◆WEB専用回答ページ

<https://en.surece.co.jp/osaka-c/>



ID

パスワード

- ※URLを入力する際は、半角英数字で、大文字・小文字に注意して入力してください。
- ※ID・パスワードは、調査専用画面に入るための認証キーです。回答者を特定するためのものではありません。
- ※スマートフォンでは正しく表示されませんので、パソコン、タブレットをご使用ください。
- ◎紙の調査票でご回答の方は、同封の返信用封筒（切手不要）に、記入いただいた調査票を入れて令和4年10月14日(金)までに、ご返送ください。

【問合せ先】

調査事務局（高齢者実態調査サポートセンター）
フリーダイヤル：0120-683-549
受付時間：月～金曜日（土曜・日曜・祝日除く） 午前9時～午後5時

【調査回答者の年齢】

問1 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。
2022年6月30日現在でお答えください。(○はひとつ)

1	20歳代	2	30歳代	3	40歳代
4	50歳代	5	60歳代	6	70歳以上

【介護支援専門員の経験年数等】

問2 あなたの2022年6月30日現在の、介護支援専門員業務の従事状況についてお答えください。

(ア) 介護支援専門員業務に従事してどれくらいの経験がありますか。前職も含めた合計期間でお答えください。(○はひとつ)

1	6か月未満	2	6か月以上1年未満
3	1年以上3年未満	4	3年以上5年未満
5	5年以上		

(イ) 現在の職場（介護支援専門員業務）の勤務期間をお答えください。
(○はひとつ)

1	6か月未満	2	6か月以上1年未満
3	1年以上3年未満	4	3年以上5年未満
5	5年以上		

(ウ) あなたの現在の年収をお答えください。(○はひとつ)

1	250万円未満	2	250万円以上 300万円未満
3	300万円以上 350万円未満	4	350万円以上 400万円未満
5	400万円以上 450万円未満	6	450万円以上 500万円未満
7	500万円以上		

(エ) 現在の勤務先（所在地）をお答えください。（○はいくつでも）

1 北区	2 都島区	3 福島区	4 此花区	5 中央区
6 西区	7 港区	8 大正区	9 天王寺区	10 浪速区
11 西淀川区	12 淀川区	13 東淀川区	14 東成区	15 生野区
16 旭区	17 城東区	18 鶴見区	19 阿倍野区	20 住之江区
21 住吉区	22 東住吉区	23 平野区	24 西成区	

(オ) あなたが勤務している居宅介護支援事業所は、介護支援専門員として働き始めてから何か所目の事業所ですか。

（人事異動等による同一法人内での勤務地の変更を除きます）

() () か所目

(カ) (オ) で「2か所目」以上と答えられた方におうかがいします。

以前、勤務していた居宅介護支援事業所を辞められた理由は何ですか。

（○はいくつでも）

1 自分の力量について、不安があったから
2 職員同士の関係がうまくいかなかったから
3 賃金が低かったから
4 残業が多かったから
5 事業所への不満・不信等
6 業務業務が忙しく、ケアマネ業務の時間が取れなかったから
7 休日・休暇が取れなかったから
8 職場までの通勤に時間がかかったから
9 事業所の閉鎖（新型コロナウイルス感染症の影響によるものを除く）
10 新型コロナウイルス感染症の影響により事業所が閉鎖されたため
11 その他
()

(キ) あなたが勤務している居宅介護支援事業所の介護支援専門員の人数は、何人ですか。

() () 人

【保健医療福祉関係の資格】

問 3 あなたは、介護支援専門員以外に保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。
（○はいくつでも）

1 医師	2 歯科医師
3 薬剤師	4 看護師・准看護師
5 保健師	6 助産師
7 理学療法士	8 作業療法士
9 歯科衛生士	10 栄養士・管理栄養士
11 柔道整復師	12 社会福祉士
13 介護福祉士	14 精神保健福祉士
15 社会福祉主事	16 旧ホームヘルパー（) 級
17 その他（)	

【主任介護支援専門員の資格】

問 4 あなたは、主任介護支援専門員の資格をお持ちですか。（○はひとつ）

1 あり →（取得年月日：平成・令和) 年) 月) 日
2 なし

【勤務先事業所の設置主体】

問 5 あなたが勤務している居宅介護支援事業所の設置主体についておうかがいします。（○はひとつ）

1 社会福祉協議会	2 社会福祉法人（社協以外）
3 医療法人	4 NPO 法人
5 生協・農協	6 営利法人（株式会社・その他等）
7 財団法人・社団法人	8 その他（)

【勤務形態等】

問 6 あなたの勤務形態と勤務日数及び時間帯は、次のうちどれですか。非常勤の場合は週あたりの時間をご記入ください。（○はひとつ）

1 常勤・専従	2 非常勤・専従 (週) 時間)
3 常勤・兼務	4 非常勤・兼務 (週) 時間)

【担当している利用者等】

問 7 あなたが担当している利用者等についておうかがいします。

担当する利用者や件数がない場合は「0」と記入してください。

(1) 担当利用者数 (予防含む) 〔 一時的入院中なども含め、継続的に関わっている利用者 数 を記入してください。(2022年6月30日現在) 〕	人 (うち予防 人)
(2) 居宅サービス計画新規作成件数 (旨の届を提出した件数) 〔 2022年6月1日～30日の該当件数、介護予防サービス計画 を含む。 〕	件 (うち予防 件)
(3) 居宅サービス計画変更作成件数 (目標変更や更新等の件数) 〔 2022年6月1日～30日の該当件数、介護予防サービス計画 を含む。 〕	件 (うち予防 件)

【要介護度別利用者の割合】

問 8 問 7 (1) で記入された利用者の要介護度別の内訳人数をお答えください。

なお、新規・更新・区分変更中の方については「その他」に計上してください。

【利用者の要介護度別人数】

2022年6月30日現在の 担当利用者数	要介護度別人数								その他
	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5		
人	人	人	人	人	人	人	人	人	
(うち、認知症の方)									
人	人	人	人	人	人	人	人	人	

＊「要介護度別人数」の合計＝2022年6月30日現在の担当する利用者数

＊「うち、認知症の方」については、「認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上」の方について記載してください。

【住まい別の利用者人数】

問 8－1 問 8 で記入された利用者のお住まいについて、住まい別の内訳人数をお答えください。

2022年6月30日現在の 担当利用者数	住 ま い 別 人 数		
	1 利用者の家 (持ち家・賃貸)	2 高齢者向け住宅(介護付き有料老人ホーム除く)	3 その他(利用者の子ども、親族の家など)
人	人	人	人

＊「住まい別人数」の合計＝2022年6月30日現在の担当する利用者数

【利用者にかかる医療的な処置等】

問 8－2 問 7 (1) で記入された利用者にかかる医療的な処置等について、人数内訳と種類をお答えください。

人数内訳	医療的な処置等にかかる種類及び人数 (複数回答)														
あり (人) 医療的な処置 等が必要な実 人数を記載し て下さい。	1 点滴の管理 (人)	2 中心静脈栄養 (人)	3 透析 (人)	4 ストーマ(人工肛門)の処置 (人)	5 酸素療法 (人)	6 レスビレーター(人工呼吸器) (人)	7 気管切開の処置 (人)	8 喀痰吸引 (人)	9 疼痛の看護 (人)	10 経管栄養 (人)	11 モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等) (人)	12 じょくそうの処置 (人)	13 インスリン注射(人)	14 カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等) (人)	15 その他 (人)
	なし (人)														

【終末期を在宅で迎える利用者数】

問 8－3 問 7 (1) で記入された利用者のうち、終末期を在宅で迎える方をどれくらい担当していますか。

() 人

【量的に不足しているサービス】

問9 事業所数もしくは定員など、量的に不足していると思われるサービスはありますか。(〇はいくつでも)

1 訪問介護	2 生活援助型訪問介護サービス
3 訪問入浴介護	4 訪問看護
5 訪問リハビリテーション	6 通所介護
7 通所リハビリテーション	8 福祉用具貸与
9 短期入所生活介護	10 短期入所療養介護
11 夜間対応型訪問介護	12 認知症対応型通所介護
13 小規模多機能型居宅介護	14 看護小規模多機能型居宅介護
15 介護老人福祉施設	16 地域密着型介護老人福祉施設
17 介護老人保健施設	18 介護療養型医療施設
19 介護医療院	20 認知症対応型共同生活介護
21 特定施設入居者生活介護	22 地域密着型特定施設入居者生活介護
23 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (24時間サービス)	
24 居宅療養管理指導	
25 その他 ()	

※事業所種別には介護予防サービス事業所を含む

問9-1 量的に不足しているサービスで1～25を選んだ理由 (自由記載)

--

【介護保険以外のサービス作成状況】

問10 2022年6月30日現在であなたが担当している利用者のケアプランで、大阪市の介護保険外サービス、ボランティアなどのインフォーマルサービスを組み合わせて作成したものはありますか。あればその人数を記入してください。

(〇はひとつ)

1	ある	→	()	人	⇒問10-1へ	2	ない	⇒問11へ
---	----	---	-----	---	---------	---	----	-------

【介護保険サービス以外のサービス利用内容】

【問10で「ある」と回答された方におうかがいします。】

問10-1 該当する介護保険外サービス・インフォーマルサービスについて〇で囲み、利用者の人数を記入してください。(〇はいくつでも)

●介護保険外サービスの種類	
1 緊急通報システム	() 人
2 住宅改修費助成	() 人
※緊急通報システムは現在利用中の人数を、住宅改修費助成はこれまで利用したことがある人数をご記入ください。	
3 生活支援型食事サービス	() 人
4 日常生活用具等の給付	() 人
5 介護用品の支給	() 人
6 寝具洗濯乾燥消毒サービス	() 人
7 あんしんさぼーと事業	() 人
8 成年後見制度	() 人
9 お泊まりデイ	() 人
10 介護予防ポイント事業、なにわ元気塾などの一般介護予防事業	() 人
11 いきいき百歳体操、 ^{ひやくさいたいそう} かみかみ百歳体操	() 人
12 ごみの持ち出しサービス	() 人
13 その他 (具体名称:)	() 人
●インフォーマルサービス	
14 家族	() 人
15 近隣・知人	() 人
16 地域の役員・民生委員	() 人
17 その他 (ボランティア等)	() 人

【充実が必要だと思う介護保険以外のサービス（自由記述）】

問11 今後充実が必要だと思う介護保険外サービスについて、ご自由にご記入ください。

--

【栄養・食生活上の課題】

問12 在宅療養者の栄養・食生活上の課題についておうかがいします。
対象者が多い項目には「1」を、対応に苦慮する項目には「2」を（ ）内に記入してください。（「1」「2」の併記可）

1 摂取量の課題（エネルギー（カロリー）、栄養素、水分等の摂取状況に関わる栄養問題） （ ）必要な食事量（エネルギー）の確保への対応 （ ）食事量（エネルギー）制限への対応 （ ）塩分、たんぱく質、カリウム等の制限食への対応 （ ）経管栄養への対応 （ ）適切な水分摂取への対応	2 臨床的な栄養課題（疾患や病態、身体的状況に関わる栄養問題） （ ）嚥下困難、ムセへの対応 （ ）かみ砕き・咀嚼困難への対応 （ ）体重減少・低体重への対応 （ ）体重増加・加体重への対応 （ ）食物と薬の相互作用への対応	3 行動と生活環境（知識、態度、信念、物理的環境に関わる栄養問題） （ ）食事に対する認知機能低下（認知症）への対応 （ ）偏食への対応 （ ）食品等の入手困難への対応 （ ）調理困難への対応	4 その他（ ）
--	---	--	----------

【栄養・食生活支援を実施する上での相談体制】

問13 栄養・食生活支援を実施する上での相談体制について、おうかがいします。栄養・食生活支援を実施するにあたり、困っていることはありませんか。（○はひとつ）

1 ある ⇒問13-1へ	2 ない ⇒問14へ
--------------	------------

【問13で「1 ある」と回答された方におうかがいします。】

問13-1 困っていることを具体的に記入してください。

--

問14 栄養・食生活支援の対応に悩んだ時の相談先がありますか。（○はひとつ）

1 ある ⇒問14-1へ	2 ない ⇒問15へ
--------------	------------

【問14で「1 ある」と回答された方におうかがいします。】

問14-1 相談先は、どこ（誰）ですか。（○はいくつでも）

1 施設内の介護支援専門員	2 訪問看護ステーションの認定看護師
3 系列施設の管理栄養士	4 その他（ ）

【サービス事業所に関する情報収集方法】

問15 サービス事業所に関する情報はどこから得ていますか。（○はいくつでも）

1 サービス事業所のパンフレット等	2 サービス事業所のホームページ	3 介護サービス情報公表システム	4 地域包括支援センター	5 居宅介護支援事業者連絡会	6 介護支援専門員同士の情報交換・口コミ	7 他のサービス事業所の営業活動	8 利用者からの情報や意見・要望	9 区役所が発行する支援マップ等	10 ハートページ	11 在宅医療・介護連携相談支援室	12 その他（ ）	13 特に情報収集をおこなっていない
-------------------	------------------	------------------	--------------	----------------	----------------------	------------------	------------------	------------------	-----------	-------------------	-----------	--------------------

【医療に関する情報収集方法】

問16 ケアプランの作成にあたって、医療に関する情報収集をどのようにおこなっていますか。(〇はいくつでも)

1	主治医の意見書
2	意見書を記載した主治医に対する電話・面談・文書連絡等
3	意見書を記載した主治医以外のかかりつけ医に対する電話・面談・文書連絡等
4	利用者の受診・入退院時に行方
5	病院内の地域医療連携室（医療相談担当スタッフ）
6	家族を通じて医師に指示を確認
7	医療スタッフ等とのカンファレンス
8	その他（
9	特に情報収集をおこなっていない

【地域・他職種・他機関との連携】

問17 医療と介護の連携についておこなうかがします。貴事業所は、地域・他職種・他機関と、全般的に、どのくらい連携（連絡、相談、調整、意見交換、情報、共有等）できていると思いますか。(〇はひとつ)

1	連携できている
2	やや連携できている
3	あまり連携できていない
4	連携できていない

【医療機関との連携】

問18 医療機関（かかりつけ医等）と連携するうえでどのような工夫をおこなっていますか。(〇はいくつでも)

1	かかりつけ医毎の連絡方法（時間帯等）の把握
2	サービス担当者会議毎にかかりつけ医の出席しやすい日時を設定している
3	ケアプラン作成・変更時にケアプランを利用者の医療機関（かかりつけ医等）に届ける（利用者の同意を得ておこなう）
4	医療機関の受診への同席や入退院時のカンファレンスに参加
5	他職種連携のための事例検討会や連絡会などへの参加
6	地域の医師や介護支援専門員などの団体で決めた連絡方法（ケアマネタイムなど）の活用
7	医療・介護連携シートを使用
8	地域包括支援センターと相談しながら連携
9	訪問看護ステーションと相談しながら連携
10	その他（
11	特に何もしていない

【在宅医療・介護連携の推進】

問19 在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えることについておこなうかがいます。(必要性の高いものから順に3つまで〇)

1	関係機関のリスト・連絡先等の提供
2	現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場
3	連携で困ったときに相談できる窓口
4	各施設・職種の役割について理解を深める機会
5	介護側のための医療知識の習得・向上の機会
6	医療側のための介護知識の習得・向上の機会
7	情報共有ツール（シート等）の統一
8	在宅医療にかかる負担の軽減（主治医・副主治医の導入など）
9	在宅医療にかかる施設基準の緩和
10	診療報酬・介護報酬の評価（増額）
11	患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発
12	その他（
13	特にない

【病院・施設等を入退所する利用者】

問20 この1年間に病院・介護保険施設等に入院・入所、または、病院・介護保険施設等を退院・退所する利用者を担当したことがありますか。(〇はひとつ)

1	はい（入院・入所：延.....人、退院・退所：延.....人）⇒問20-1へ
2	いいえ ⇒問21へ

【入退所する病院・施設等との連携】

【問20で「1 はい」と回答された方におうかがいします。】

問20-1 入院・入所又は退院・退所する病院・施設と入院・入所時、退院・退所時に連携をとりましたか。ひとりでも連携をとった場合は「はい」、まったくとらなかった場合は「いいえ」としてください。

1	はい	2	いいえ	⇒問21へ
また、「はい」と答えられた方は、延べ何人の方に、病院・施設とどのような連携をとりましたか。(○はいくつでも)				
連携をとった人数				
入院・入所：延.....人、退院・退所：延.....人				
連携方法と連携先				
《連携方法》(○はいくつでも)				
1 病院や施設でおこなわれたカンファレンスに参加した				
2 病院や施設を訪問して連絡をとった				
3 病院や施設への電話で連絡をとった				
4 病院や施設と文書でやりとりをした				
5 その他 (.....)				
《連携先》(○はいくつでも)				
1 病院・施設の医師				
2 病院・施設のリハビリテーション専門職 (理学療法士・作業療法士・言語療法士等)				
3 病院・施設の看護師				
4 病院の医療相談担当スタッフ				
5 施設の生活指導員				
6 施設の介護支援専門員				
7 病院・施設の管理栄養士・栄養士				
8 その他 (.....)				

【連携のための加算】

【問20-1で「1 はい」と回答された方におうかがいします。】

問20-2 病院・施設との連携のための加算を請求しましたか。(○はひとつ)

1	はい	2	いいえ	⇒問20-3へ
「はい」と答えられた方は、加算の種類をお答えください。 (あてはまるものすべてに○)				
1 入院時情報連携加算 (Ⅰ) 2 入院時情報連携加算 (Ⅱ)				
3 退院・退所加算 4 通院時情報連携加算				
5 緊急時等居宅カンファレンス加算				
6 ターミナルケアマネジメント加算				
7 特定事業所医療介護連携加算				

【退院・退所の際に困ったことの有無】

【問20-1で「1 はい」と回答された方におうかがいします。】

問20-3 医療機関や施設などから退院や退所する際に困ったことはありませんか。
(○はひとつ)

1	はい	⇒問20-4へ	2	いいえ	⇒問21へ
---	----	---------	---	-----	-------

【問20-3で「1 はい」と回答された方におうかがいします。】

問20-4 困ったことを具体的に記入してください。(自由記載)

--	--	--	--	--	--

【在宅で医療的な処置を必要とする方の支援】

問21 在宅で医療的な処置を必要とする方の支援を行ううえで、困っていることについておうかがいします。(○はそれぞれひとつ)

	そう思う	思わない
(1) 医療二一ズの高い患者(吸引や経管栄養など)を担当してくれるかかりつけ医がなかなか見つからない	1	2
(2) 医療二一ズの高い患者(吸引や経管栄養など)に対応が可能な訪問看護がなかなか見つからない	1	2
(3) 医師と連絡調整を行う際、多忙で連絡が取れないことが多い	1	2
(4) 医師や看護師の専門的な用語がわかりにくい	1	2
(5) 急な退院などで対応に困ったことがある	1	2
(6) 退院時に患者や家族は病状について、十分な説明を受けていない	1	2

	そう思う	思わない
(7) 対応に困った時に相談するところがない	1	2
(8) 在宅医療などの医療に関する勉強会や研修の場が少ない	1	2
(9) その他 (自由記載)		

【在宅医療を進めていくうえで必要な社会資源】

問22 在宅医療を進めていくうえで必要な社会資源についてお考えをお願いします。
(〇はそれぞれひとつ)

	足りている	足りていない	わからない
(1) 医師による訪問診療	1	2	3
(2) 歯科医師による訪問歯科診療	1	2	3
(3) 薬剤師による居宅療養管理指導	1	2	3
(4) 看護師などによる訪問看護	1	2	3
(5) 歯科衛生士による居宅療養管理指導	1	2	3
(6) 緊急時に対応してくれる医師または医療機関	1	2	3
(7) 緊急時に対応してくれる看護師または訪問看護師	1	2	3
(8) 管理栄養士・栄養士による居宅療養管理指導	1	2	3
(9) その他 (自由記載)			

【自宅での生活を継続するのに苦慮する課題】

問23 在宅医療が必要な利用者に対するケアマネジメントをする中で、自宅での生活を継続するのに苦慮する課題についてお考えをお願いします。

	そう思う	思わない
(1) 在宅医療の社会資源が不足	1	2
(2) 介護の社会資源が不足	1	2
(3) 本人の理解・意思決定	1	2
(4) 家族の理解・意思決定	1	2
(5) 家族介護力	1	2

	そう思う	思わない
(6) 経済力	1	2
(7) 医療的措置	1	2
(8) 認知・不穏症状	1	2
(9) 家屋環境	1	2
(10) その他 (自由記載)		

【ACP (人生会議)】

問24 介護支援専門員業務において、ACP (人生会議) を実施していますか。
(〇はひとつ)

1 知っており、実施をしたことがある
2 知っているが、実施をしたことはない
3 知らなかったが、今後は実施をしたいと思う
4 知らなかったが、今後も実施はしないと思う

【在宅での看取りにおける課題】

問25 ケアマネジメントをする中で、在宅での看取りにおいて、課題だと考えることについてお考えをお願いします。
(〇はそれぞれひとつ)

	そう思う	やや思う	あまり思わない	思わない
(1) 在宅医療の社会資源が不足	1	2	3	4
(2) 介護の社会資源が不足	1	2	3	4
(3) 本人の理解・意思決定	1	2	3	4
(4) 家族の理解・意思決定	1	2	3	4
(5) 家族介護力	1	2	3	4
(6) 緩和ケア等医療的措置	1	2	3	4
(7) 心理的ケア	1	2	3	4
(8) 家屋環境	1	2	3	4